

概要説明書(その2)

新技術の名称	あさひⅡ型（裏型枠不要な自立ブロック）	※登録No.	24D1006
新規性及び期待される効果			
①どこに新規性があるのか？（従来技術と比較して何を改善したのか？） 1.裏型枠に代わる背面版を付けた。 2.胴込め部を同形状としたため、胴込め材はどのタイプでも0.27㎡/個と一定量となる。前面部材厚を厚くし控長に対応する。 3.水平積みで5分勾配として、自立する形状とした。 ②期待される効果（～が～になる。～を～にすることができる。） 1.裏型枠設置・撤去の工程を省くことができ、胴込めコンクリートのみの施工で済むため、工期短縮が可能。更に、裏込めコンクリートの出来形管理が不要。 2.控長が大きくなるにつれ、前面部材厚が厚くなるため、更に安定性が増す。 3.ブロックが自立するため、パイプサポートを必要とせず、安全・迅速・正確な施工が可能。 ③アピールポイント ・水平積で5分勾配となり据付しやすく、裏込コンクリート打設時、裏型枠の設置・撤去の工程が省けるため、工期の短縮が図れる。			
適用条件			
①自然条件 ・従来技術と同様（特になし） ②現場条件 ・従来技術と同様（クレーン設置が可能な現場） ③技術提供可能地域 ・特に制限なし ④関係法令等 ・特になし			
適用範囲			
①適用可能な範囲 ・適用勾配は、1:0.5 ②特に効果の高い適用範囲 ・製品長が2.0mであるため、直線で施工延長が長い場合は、特に工期短縮の効果が大きい。 ③適用できない範囲 ・勾配1:0.3は適用できない。 ④適用にあたり、関係する基準及びその引用元 ・道路土工・擁壁工指針（社団法人 日本道路協会 平成11年3月）			
留意事項			
①設計時 ・曲線部での施工では、Rが小さい場合は検討が必要。 ②施工時 ・曲線施工は、現場の曲線に応じた擁壁スパン長毎に折り、折れ点を現場打ちで対応。 ③維持管理時 ・特になし ④その他 ・特になし			

概要説明書(その3)

新技術の名称	あさひⅡ型（裏型枠不要な自立ブロック）			※登録No.	24D1006																
活用の効果																					
比較する従来技術	π型ブロック																				
項目	活用の効果			比較の根拠																	
経済性	☒ 向上（3.3%）	☐ 同程度	☐ 低下（%）	100㎡当りの直接工事費の比較																	
工 程	☒ 短縮（51.7%）	☐ 同程度	☐ 増加（%）	裏型枠設置・撤去の工程が省ける																	
品 質	☐ 向上	☒ 同程度	☐ 低下																		
安全性	☒ 向上	☐ 同程度	☐ 低下	重心が低く自立するため、背面サポートなしでも転倒することはない																	
施工性	☒ 向上	☐ 同程度	☐ 低下	水平積みで5分勾配のため据付が容易で、裏型枠不要																	
周辺環境への影響	☐ 向上	☒ 同程度	☐ 低下																		
活用の効果の根拠																					
<table border="1"> <tr> <td>基準数量</td> <td>100</td> <td>単位</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新技術(A)</td> <td>従来技術(B)</td> <td>変化値A/B(%)</td> </tr> <tr> <td>経済性</td> <td>1,575,000円</td> <td>1,628,000円</td> <td>96.7</td> </tr> <tr> <td>工 程</td> <td>3.51日</td> <td>7.26日</td> <td>48.3</td> </tr> </table>						基準数量	100	単位	㎡		新技術(A)	従来技術(B)	変化値A/B(%)	経済性	1,575,000円	1,628,000円	96.7	工 程	3.51日	7.26日	48.3
基準数量	100	単位	㎡																		
	新技術(A)	従来技術(B)	変化値A/B(%)																		
経済性	1,575,000円	1,628,000円	96.7																		
工 程	3.51日	7.26日	48.3																		
●新技術の内訳 基準数量: 100㎡ あたり																					
項 目	仕 様	数量	単位	単価(円)	金額(円)	摘 要															
労務費	—	1	式	135,600	135,600	2012年4月新潟県単価															
機械賃貸料	ラフテレーン クレーン25t	1	式	98,000	98,000	2011年北陸単価															
材料費	50型滑面模様	1	式	900,000	900,000	平成24年度自社単価															
胴込めコンクリート工	18-5-25	1	式	439,277	439,277	2012年4月新潟県単価															
諸雑費	—	1	式	2,123	2,123	労務費の2%未満															
●従来技術の内訳 基準数量: 100㎡ あたり																					
項目	仕様	数量	単位	単価(円)	金額(円)	摘 要															
労務費	—	1	式	282,400	282,400	2012年4月新潟県単価															
機械賃貸料	ラフテレーン クレーン25t	1	式	196,000	196,000	2011年北陸単価															
材料費	π型ブロック	1	式	595,000	595,000	平成23年度自社単価															
胴込・裏込コンクリート工	18-5-25	1	式	543,789	543,789	2012年4月新潟県単価															
諸雑費	—	1	式	10,811	10,811	労務費の4%未満															
○ライフサイクルコストに関する事項(必要な場合記載)																					

概要説明書(その4)

新技術の名称	あさひⅡ型（裏型枠不要な自立ブロック）			※登録No.	24D1006
施工単価	☐ 歩掛りなし ☒ 歩掛りあり(☐ 標準 ・ ☐ 協会 ・ ☒ 自社)				
(材工単価) 15,750(円/㎡) 施工面積100㎡の施工規模にて算出。 世話役 1.0 (人) ブロック工 3.0 (人) 特殊作業員 2.0 (人) 普通作業員 3.0 (人) 機械運転 0.2 (日) ※ラフテレーンクレーン油圧式伸縮ジブ25t吊					
施工方法					
①床堀、基面整形 ・床堀はあらかじめ計画された位置に、土質・地質・地形に適合した機種により施工の安全性を考慮した上で過堀のないように施工する。 ②基礎材施工 ・計画された位置に基礎碎石を敷き均し、十分に締め固めを行う。 ③基礎ブロック据付 ・丁張と水系により基礎ブロック天端の前面を合わせ法線・計画高・水平を確認しながら、基礎材の上に基礎ブロックを据付けた後、開口部に中詰めコンクリートを打設する。 ④1段目ブロックの据付 ・専用の吊り具を用いてブロックを吊り上げ、丁張と水系により所定の位置・高さに設置する。 ⑤裏込・胴込材施工 ・道路土工・擁壁工指針に準じて裏込材を充填し、十分締め固めを行う。 程度下げた位置まで充填する。 ⑥2段目以降の施工 ・④～⑤の工程を繰返し、ブロックを構築します。 ⑦天端コンクリート施工 ・計画高さまでブロックを構築し、天端コンクリートを打設し、施工完了となる。					
残された課題と今後の開発計画					
①課題 ・5分勾配以外への対応。 ・使用生コンへのリサイクル材(フライアッシュ)利用の対応。					
②計画 ・5分勾配以外の製品の考案。 ・リサイクル材利用の検討。					
施工実績	☒ あり ☐ なし				
新潟県の公共事業	2件				
他の公共機関					
民間等					
特許・実用新案					番 号
特 許	☐ あり ☐ 出願中 ☐ 出願予定 ☒ なし				
実用新案	☐ あり ☐ 出願中 ☐ 出願予定 ☒ なし				
他の機関による 評価・証明	証明機関	国土交通省			
	制度名	NETIS			
	番号	HR-110029-A			
	評価等年月日	平成24年2月29日			
	証明等範囲				

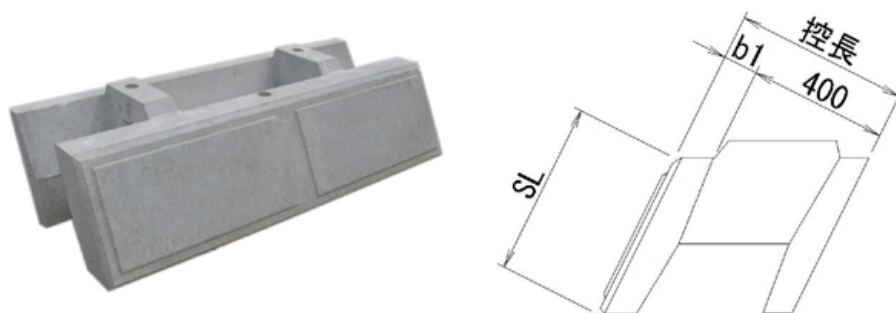
概要説明書(その5)

新技術の名称 あさひⅡ型（裏型枠不要な自立ブロック）

※登録No.

24D1006

概要図、写真等



(図-1.製品形状)



(写真-2.施工状況)



(写真-3.施工完了状況)

概要説明書(その6)

[illegible]

[illegible]